

令和7年度 高松市地域学校協働活動【活動報告】

モデル校	鬼無小学校
地域学校協働活動推進員 (コーディネーター)	1名 (主な役職) 元 PTA 会長



1. 地域と学校が共に目指している事

- ・ 家庭や地域と連携・協働する開かれた学校
- ・ 集団のよさを生かし、楽しく学び、いきいきと活動できる学校
- ・ 安心と信頼を大切にし、積極的に自分の力を発揮できる学校
- ・ 地域の自然や歴史、文化を大切にしてふるさとを愛することができる学校

2. 活動の内容

【第1回】令和7年6月9日（月）

- ・ 学校教育目標等や、2学期に開催する「きなしっ子けん玉チャレンジ」のイベントについて説明、承認を得た。

【第2回】令和7年11月22日（土）

- ・ 授業と「きなしっ子けん玉チャレンジ」の参観
- ・ 協議時間が取れなかったため、アンケート（記述式）でご意見をいただいた。

【第3回】令和8年2月6日（金）

- ・ 授業参観、「ありがとうの集い」への参加
- ・ 今年度の学校教育活動について報告、学校評価（自己評価）の成果と課題を説明し、ご意見をいただいた。
- ・ 次年度の学校経営構想を説明し、承認を得た。
- ・ 次年度の地域学校協働活動推進員について、継続の承認を得た。

3. 今年度の成果

- ・第1回学校運営協議会で学校教育活動への協力を依頼したところ、5年団屋島集団宿泊学習では地域コーディネーターがキャンプファイヤーの木を組むお手伝いを保護者に呼びかけてくれた。5名の保護者がボランティアとして参加してくださり、教職員の負担軽減とスムーズな進行につながり、大変効果があった。



- ・第2回学校運営協議会では、ゆめ企画「きなしっ子わくわくけん玉チャレンジ～けん玉チャンピオンが来る！～」のイベントを参観していただいた。けん玉名人の伊藤佑介さんと児童がコラボし、ステージ上で巧みなけん玉の技を披露した。日頃からけん玉遊びに熱心に取り組む児童の努力が報われてよかった、名人の話が子どもだけでなく大人の心にも響いた素敵な時間だった等のたくさんの称賛の言葉をいただいた。
- ・第3回学校運営協議会では、学校評価アンケート等の結果を受けて、委員の方々からご意見をいただいた。児童がよりよい学校づくりに主体的に取り組む活動を継続していくこと、学校外でも自分から挨拶ができる子に育ててほしいこと、有意義な避難訓練を積み重ね、実際に起こった時に教職員が共通理解して行動できるようにしてほしいこと、など貴重なご意見やご要望をお伺いすることができた。

4. 次年度に向けての課題

- ・今年度と同様の時期に実施予定である。
 - 【第1回目】6月8日（月）学習参観・令和8年度の学校教育活動への協力依頼
 - 【第2回目】11月21日（土）学習参観・地域合同防災訓練参観
 - 【第3回目】2月5日（金）学校評価結果の説明、課題と改善策の検討
次年度の学校経営構想の説明

地域学校協働活動

コーディネーター

1. コーディネーターの主な活動内容

No	項目	内容
①	学校・家庭・地域連携室	・校内に「学校・家庭・地域連携室」を設置し、PTAや学校支援ボランティアの活動拠点として活用できるようにした。 ・これまでの学校支援ボランティアを見直し、「花と緑のボランティア・昼休み昔遊びボランティア・校内掲示ボランティア・学校図書館ボランティア」を募集 ・コミュニティセンターだよりに募集の掲載を行い、5月末頃にオリエンテーションを実施 ・さらに各ボランティアに担当教員を配置し、教職員の校務分掌として新設された地域連携担当教員と連携しながら活動を進めた。 学校支援ボランティア募集! 鬼無小学校では、「地域とともにある学校づくり」をめざした教育活動を行っており、学校支援ボランティアを募集いたします。右記の通り募集いたしますので、応募いただけますようお願い申し上げます。昨年度までご参加いただいた方には、メール等で継続の確認をさせていただきます。 ご支援いただける方は、鬼無小学校 地域連携担当 教員大柳（または教頭・池下）までご連絡ください。 【881-2413 鬼無小学校】 なお募集定員を大きく超えた場合には、先着順とさせていただきます。あらかじめご了承ください。 【高松市立鬼無小学校】 ① 花と緑のボランティア・・・10名程度 平日都合のいい曜日 8:05～10:00 水やり、草抜き、苗や種を植える。 ② 昼休みの昔遊びボランティア・・・10名程度 月・火・水曜日 13:00～13:25 子どもと一緒にこま、けん玉、竹とんぼ、だるま落とし等をする。 ③ 校内掲示ボランティア「掲示クリエイター」・・・15名程度 毎月1回月曜日 9:30～12:00 校内の掲示物作成 ④ 学校図書館ボランティア「コットンツリー」・・・15名程度 毎月1回月曜日 8:15～8:35 朝の読書タイムに、本の読み聞かせをする。 ⑤ 学校図書館ボランティア「コットンフラワー」・・・15名程度 第2・第4火曜日 9:00～11:00 読書センター、情報センターの環境整備 オリエンテーション実施

②	学校・地域 合同防災訓練 親子防災チャレンジ	・コーディネーターを核に、地域の関係者等と共に「学校・地域合同防災訓練」を実施。 ・事前打合せとして地区自主防災会・高松西消防署・校長・コーディネーターで数回実施 ・当日の午前は学校行事の一環とし、地区消防団・女性防火クラブ等関係団体も加わり、皆さんの協力のもと開催 ・午後からはPTA・子ども会育成連絡協議会・ボーイスカウトが中心となり「親子防災チャレンジ」と題して、親子で実際に体験できる活動を行った。工夫しながら防災食を作り皆で食べたり、テント等を組み立てたり、防災クイズ等を行い楽しく学べる機会を設けた。
---	------------------------------	---

2. 苦労したことや、今後解決しようと考えている事

- ・地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）としての地域の方々からの認知度が低いので、役割や活動の意味等、説明が難しかった。
- ・更に学校や地域に精通するため、今一度関わりを見直し、校長先生や各種団体長に様々なことを教えていただきたいと考えている。

3. 成果・効果

- ・活動を通じて、普段学校に来ない方達にも来校いただき、学校や先生、子どもたちのことを知ってもらえたと思う。
- ・子どもたちに沢山の驚きの言葉をもらい、学びたいという気持ちを上手く引き出すことができ、地域の方々と子どもたちが親しくなれたと思う。

4. これまでの活動全般を通して感じていることや、今後の展望など

- ・学校支援ボランティアが活動しやすくなるために、地域コーディネーターと色々なことを協議していければと思っている。
- ・また、学校と地域が連携し協働することは大変なように思えるが、地域の方々の意見も聞きつつ、地域コーディネーターという仕事を無理ない範囲で継続していくことが大切なんだなと思えた。
- ・今後、学校と地域の架け橋になれるように、色々な人と関わり教えてもらいながら、自分も成長していければと思っている。

学 校

1. 成果・効果と今後の見通し

- ・昨年度に増して学校・家庭・地域連携室を打ち合わせや作業のほか、休憩所として気軽かつ有効に活用していただけた。ボランティアの方同士の交流の場となった。
- ・地域コーディネーターや地域連携担当教員がいることで、「きなし学習」の相談や地域の方とつながりやすかった。
- ・学校支援ボランティアを対象としたオリエンテーションは、ねらい等を共有したり、ボランティア同士の横のつながりができたりして、有意義な機会となった。
- ・ボランティアの活動が充実することで、子どもたちの活動が盛り上がり、生き生きとした姿が見られた。
- ・ありがたい集いは、お礼を伝える側にとっても、伝えられる側にとっても、心が温かくなる集会になった。こんなにもたくさんの人が見守ってくれているという安心感が生まれ、シビックプライドの醸成とともに、非認知スキルを育む場にもなっている。
- ・学校支援ボランティアと担当教員の打ち合わせは、時間の確保が難しいため、連絡ノートを積極的に活用することで意思疎通を図ることができた。
- 地域コーディネーターが地域との連携を図る場合、ある程度回を重ねると、次回から必要なくてもよい場合が生まれる。地域コーディネーターの負担感がないようにしたい。

2. 廃止・見直した取組

- ・地域クリーン活動は、児童の安全性を考慮して廃止した。